

市と神大が協定 「多分野で連携」

横浜市と神奈川大学（同市神奈川区、兼子良大学長）は、包括連携協定を結んだ。写真（市提供）。▽人的資源の相互交流▽知の拠点空間や対話の場の相互活用▽共同研究などの充実や教育全般に関する支援・協力など6項目で協力する。同大は来年4月、横浜・みなとみらい21（MM21）

地区に新キャンパスを開設予定。約5千人の学生が通うといい、大学の持つ多様な資源や強みを地域に生かしたいと同大が市に提案した。

協定に基づき、市民の展示や交流のスペースを新キャンパスに設けることを検討しているという。

林文子市長は5日の定例会見で「キャンパス開設は、

市や周辺企業にとっても大きな期待感がある。（同大と）さまざまな分野で連携を強化したい」と述べた。

